

島添ホーム通信

令和4年度
第16号
令和4年12月21日
島添ホーム

感謝の30年

島添ホームは令和4年12月1日で開設30周年を迎えました。当時の沖縄は、児童養護施設を巣立ち、本土(県外)へ就職してからつまづいてしまう若者達が多くおり、そんな時に戻れる場所を作りたい…という思いで、県の認可を得て開設に至りました。

開設時は自立援助ホームと児童養護施設分園型自立活訓練事業(ファミリーホーム)を同一の建物で行う全国的にも珍しい形態でした。(平成18年4月、ファミリーホームから地域小規模児童養護施設チャイルドホームに変更)

新しい試みの施設を受け入れてくれた上与那原地区の皆様にはたくさんお世話になり、また、地域の行事にも参加させて頂きました。入所児童・利用者の年齢の幅もあり、少人数の職員で対応する大変さはありませんでしたが、毎日が賑やかで笑顔も多い日々でした。

開設から約23年間生活させて頂いた建物の老朽化に伴い、地域小規模児童養護施設と分離して現在の板良敷地区へ移転しました。与那原町は中城湾に面しているので屋上からは海も眺められ、ゆったりとした環境です。

男女混合ホームから女子ホームにも変更し雰囲気は少し変わりましたが、職員と利用者が向き合う姿勢は変わりません。互いに真剣だからこそ時折ぶつかる事もありますが、利用者は一つ一つの経験を通し人生の糧にしてくれたらと思います。これからも島添ホームを利用する子ども達と共に居心地の良い空間作りを目指しながら支援していきたいと思います。



開設当初の島添ホーム(1992年12月)



現在の島添ホーム

